

【公報種別】特許法第 17 条の 2 の規定による補正の掲載  
【部門区分】第 6 部門第 3 区分  
【発行日】令和 5 年 5 月 25 日(2023.5.25)

【公開番号】特開 2021-189835(P2021-189835A)  
【公開日】令和 3 年 12 月 13 日(2021.12.13)  
【年通号数】公開・登録公報 2021-060  
【出願番号】特願 2020-95403(P2020-95403)  
【国際特許分類】  
G 0 6 N 2 0 / 0 0 ( 2 0 1 9 . 0 1 )  
【 F I 】  
G 0 6 N 2 0 / 0 0 1 3 0

10

【手続補正書】  
【提出日】令和 5 年 5 月 17 日(2023.5.17)  
【手続補正 1】  
【補正対象書類名】特許請求の範囲  
【補正対象項目名】全文  
【補正方法】変更  
【補正の内容】

20

【特許請求の範囲】  
【請求項 1】

アノテーションの対象となる対象データの入力に基づいて推定され、複数種類のラベルのうちどのラベルが前記対象データへ付加されるかを示す確からしさのスコアを取得する取得手段と、  
前記複数種類のラベルそれぞれを軸とした第 1 特徴量空間に、前記取得手段により取得された前記スコアに基づいて配置されたラベル付与済みデータから、前記第 1 特徴量空間から分割された複数の第 1 象限それぞれについて第 1 候補データを決定する決定手段と、  
前記決定手段により決定された複数の前記第 1 候補データを出力する出力手段と、  
前記出力手段によって出力された前記第 1 候補データに基づいて、前記対象データへ付与する候補ラベルを受け付ける受付手段と、  
を備える、情報処理装置。

30

【請求項 2】

前記決定手段は、一連のラベル付与済みデータが分布する領域を、複数の前記候補ラベルの少なくとも一部について当該一連のラベル付与済みデータそれぞれの前記スコアの最大値と最小値と間の中間値に基づき、複数の象限に分割する、請求項 1 に記載の情報処理装置。

【請求項 3】

前記受付手段は、複数の前記第 1 候補データから第 2 候補データの指定を受け付け、

前記決定手段は、指定された前記第 2 候補データを基点として規定される第 2 特徴量空間が分割された複数の第 2 象限ごとに第 3 候補データを決定し、  
前記受付手段は、前記決定手段によって決定された前記第 3 候補データに基づいて、前記対象データへ付与する候補ラベルを受け付ける、  
請求項 1 または 2 に記載の情報処理装置。

40

【請求項 4】

前記決定手段が、前記受付手段が指定を受け付けた前記第 2 候補データを基点として規定される第 2 特徴量空間を複数の第 2 象限に分割し、当該複数の第 2 象限それぞれについて当該第 2 象限に含まれる前記ラベル付与済みデータに基づく前記第 3 候補データを決定する処理と、  
前記出力手段が、前記複数の第 2 象限それぞれについて決定された前記第 3 候補データを

50

出力する処理と、  
が逐次実行される、  
請求項 3 に記載の情報処理装置。

【請求項 5】

前記第 2 特徴量空間は、従前に複数の第 1 象限に分割された領域よりも広さが制限されるように規定され、前記複数の第 2 象限に分割される、請求項 4 に記載の情報処理装置。

【請求項 6】

逐次指定される前記第 2 候補データそれぞれについて算出された、前記対象データとの間の前記第 1 特徴量空間における距離が、所定回数以上、従前に指定された前記第 2 候補データについて算出された前記距離に対して伸び続けている場合に、所定の出力先に報知情報を報知させる報知手段を備える、請求項 3 ～ 5 のいずれか 1 項に記載の情報処理装置。

10

【請求項 7】

前記決定手段は、指定された前記対象データと、前記複数の第 1 象限それぞれと、の間の前記第 1 特徴量空間における距離に応じて、当該複数の第 1 象限それぞれについて決定する前記第 1 候補データの数を制御する、請求項 1 ～ 6 のいずれか 1 項に記載の情報処理装置。

【請求項 8】

前記決定手段は、指定された前記対象データとの間の前記第 1 特徴量空間における距離がより近い前記第 1 象限ほど、当該第 1 象限について決定する前記第 1 候補データの数がより多くなるように制御する、請求項 7 に記載の情報処理装置。

20

【請求項 9】

情報処理装置が実行する情報処理方法であって、

アノテーションの対象となる対象データの入力に基づいて推定され、複数種類のラベルのうちどのラベルが前記対象データへ付加されるかを示す確からしさのスコアを取得する取得ステップと、

前記複数種類のラベルそれぞれを軸とした第 1 特徴量空間に、前記取得ステップにおいて取得された前記スコアに基づいて配置されたラベル付与済みデータから、前記第 1 特徴量空間から分割された複数の第 1 象限それぞれについて第 1 候補データを決定する決定ステップと、

30

前記決定ステップにおいて決定された複数の前記第 1 候補データを出力する出力ステップと、  
前記出力ステップにおいて出力された前記第 1 候補データに基づいて、前記対象データへ付与する候補ラベルを受け付ける受付ステップと、

を含む、情報処理方法。

【請求項 10】

コンピュータを、請求項 1 ～ 8 のいずれか 1 項に記載の情報処理装置の各手段として機能させるためのプログラム。

【手続補正 2】

【補正対象書類名】明細書

40

【補正対象項目名】0007

【補正方法】変更

【補正の内容】

【0007】

本発明に係る情報処理装置は、アノテーションの対象となる対象データの入力に基づいて推定され、複数種類のラベルのうちどのラベルが前記対象データへ付加されるかを示す確からしさのスコアを取得する取得手段と、前記複数種類のラベルそれぞれを軸とした第 1 特徴量空間に、前記取得手段により取得された前記スコアに基づいて配置されたラベル付与済みデータから、前記第 1 特徴量空間から分割された複数の第 1 象限それぞれについて第 1 候補データを決定する決定手段と、前記決定手段により決定された複数の前記第 1

50

候補データを出力する出力手段と、前記出力手段によって出力された前記第 1 候補データに基づいて、前記対象データへ付与する候補ラベルを受け付ける受付手段と、を備える。

10

20

30

40

50